



2025 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 abc 株式会社
代表者名 代表取締役社長 松田 元
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

資金使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025 年 1 月 8 日付「第三者割当による新株式及び第 16 回新株予約権、第 17 回新株予約権の発行に関するお知らせ」にて公表しました「新株予約権（第 16 回新株予約権、第 17 回新株予約権）の発行により調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期」について、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、2025 年 1 月 8 日付「第三者割当による新株式及び第 16 回新株予約権、第 17 回新株予約権の発行に関するお知らせ」にて開示のとおり、第三者割当による資金調達を行っております。

資金調達の状況につきましては、2025 年 10 月 17 日付「[第三者割当による新株式及び第 16 回新株予約権、第 17 回新株予約権の行使による資金調達の状況に関するお知らせ](#)」にて開示のとおり、約 60 億円の調達を行っており、2025 年 10 月 15 日付「2025 年 8 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の開示で公表しておりますが、決算期変更となる当事業年度は、5 ヶ月の変則決算となっておりますが、経常利益、当期純 利益が大きく改善し、黒字化を実現しております。

当社としては、当社グループの軸ともなる事業資金への投下を前提に、行使による資金調達の際には適切に継続して運用を行っていく予定です。

そのなかで、今回、新株予約権（第 16 回新株予約権、第 17 回新株予約権）の発行により調達する資金使途のうち「⑦M&A、資本業務提携による法人取得における投資資金及び法人取得初期における運転資金」に充当する予定であった 4,180 百万円のうち 1,260 百万円を「⑧子会社による仮想通貨の購入資金」として使用のため、資金使途及び支出予定時期を変更いたします。

主には、今回の追加購入資金で、「NYANMARU Coin (\$NYAN)」(想定 10 億円)、「WOWBIT (\$WVB)」(想定 2.6 億円)を対象として、追加の購入を行っていきます。金額に関しては、追加で購入するコイン銘柄における直近のパフォーマンス、出来高などからそれぞれの暗号資産における売買による 2026 年 8 月期のトレーディング収益見込みのなかで最低限に必要な運用資金として追加設定しております。

なお、現在、当社及び子会社による暗号資産運用ともなっている現状を勘案して、「⑧子会社による仮想通貨の購入資金」を「⑧当社及び子会社による暗号資産の購入資金」と名称変更させていただきます。

また現状の資金繰りにおいて、当社の運転資金に加えて、当社グループの営業等にかかる販管費や借入金返済等に伴う支出、子会社への給与支払や諸経費などの子会社にかかる運転資金など当社グループとして必要となる追加運転資金を確保するため、「⑦M&A、資本業務提携による法人取得にお

ける投資資金及び法人取得初期における運転資金」から 100 百万円を「⑩運転資金」として使用するため、資金使途及び支出予定時期を変更いたします。

「③当社子会社（アトリエブックアンドベッド株式会社）における借入金返済資金」についても現在時点で未充当の状況であることから支出予定時期を変更いたします。

そして、2025 年 9 月 22 日付 PR 情報「[（経過開示）「AGF ステージング」完成および正式提供開始のお知らせ](#)」で公表しております、当社が推進する Web3 経済圏拡大戦略として、進めている暗号資産「GOLDUtility Token (AGF)」を対象とした新サービス「AGF ステージング」に関して、実物資産（ゴールド）とデジタル資産（トークン／NFT）の間をシームレスに接続することで、国内外の投資家に向けて、より柔軟かつ持続可能な資産保有体験を提供していく一環とし、当社として実物資産（ゴールド）を購入することを決定いたしました。

これは、ゴールド証明書 NFT（Gold Certificate NFT）の発行に活用することができ、デジタル空間における「金の保有証明」に基づき、実物資産（ゴールド）へのスワップ（交換）も可能とする将来的な資産ともなる仕組みを構築するため、今回、資金使途に新たに「⑪実物資産（ゴールド）の取得資金」として、100 百万円を設定いたしました。

2. 変更の内容

変更箇所には下線を付しております。

（変更前）

＜本新株予約権の発行により調達する資金の具体的な使途＞

具体的な使途	金 額	支出予定時期
② 当社における借入金返済資金	415百万円	2025年 1 月～2026年 1 月
③ 当社子会社（アトリエブックアンドベッド株式会社）における借入金返済資金	215百万円	2025年 1 月～ <u>2025年12月</u>
④ 当社子会社の設備投資等資金	154百万円	2025年 1 月～2027年 1 月
⑤ 太陽光発電施設の取得資金	230百万円	2025年 1 月～2027年 1 月
⑥ 販売用不動産の仕入資金	120百万円	2025年 1 月～2027年 1 月
⑦ M&A、資本業務提携による法人取得における投資資金及び法人取得初期における運転資金	<u>4,180百万円</u>	2025年 1 月～2028年 1 月
⑧ <u>子会社による仮想通貨の購入資金</u>	<u>1,000百万円</u>	2025年 1 月～ <u>2025年 8 月</u>
⑨ 事業会社に対する投融資資金	1,100百万円	2025年 2 月～2028年 1 月
⑩ 運転資金	<u>300百万円</u>	2025年 3 月～ <u>2025年 9 月</u>
合計	7,714百万円	

（変更後）

＜本新株予約権の発行により調達する資金の具体的な使途＞

具体的な使途	金 額	支出予定時期
② 当社における借入金返済資金	415百万円	2025年 1 月～2026年 1 月
③ 当社子会社（アトリエブックアンドベッド株式会社）における借入金返済資金	215百万円	2025年 1 月～ <u>2026年 8 月</u>
④ 当社子会社の設備投資等資金	154百万円	2025年 1 月～2027年 1 月
⑤ 太陽光発電施設の取得資金	230百万円	2025年 1 月～2027年 1 月
⑥ 販売用不動産の仕入資金	120百万円	2025年 1 月～2027年 1 月

⑦ M&A、資本業務提携による法人取得における投資資金及び法人取得初期における運転資金	<u>2,720百万円</u>	2025年1月～2028年1月
⑧ 当社及び子会社による暗号資産の購入資金	<u>2,260百万円</u>	2025年1月～ <u>2026年8月</u>
⑨ 事業会社に対する投融資資金	1,100百万円	2025年2月～2028年1月
⑩ 運転資金	<u>400百万円</u>	2025年3月～ <u>2026年3月</u>
⑪ 実物資産（ゴールド）の取得資金	<u>100百万円</u>	<u>2025年10月～2026年8月</u>
合計	7,714百万円	

なお、本新株予約権の行使による払込みは、原則として新株予約権者の判断によるため、新株予約権行使により調達する時期は、新株予約権の行使状況によって決定されますが、今回は、当該資金使途が当社の企業価値の創造と向上に大きく寄与するものであることを割当予定先の方々からも理解を得ており、当社事業の進捗に応じた行使及び株価上昇にも応じて、当社側における行使指示条項もあることから、タイムリーな資金調達を可能とした条件ともなっております。

ただ、新株予約権の行使が思うように進まない場合には、資金使途の見直し及び別途の資金調達の可能性があることにも変更はございません。

3. 今後の見通し

本件変更が2026年8月期の業績に与える影響は軽微と考えておりますが、今後の業績に与える影響について開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上